

道設備設計事務所協会

暑熱対策など話題提供

札幌で技術情報発表会

北海道設備設計事務所協会は、このほど、技術情報発表会を札幌カリーデンパレスで開いた。電気機械の技術を持つメーカーなどから担当者が出席。

新製品や道内特有の課題解決に役立つソリューションを話題提供した。

10日に開催し、169人が参加した。

機械分野では、木村工



機が圧換気空調による暑熱対策を発表。業務用空調機メーカーとして工場向け製品が高い支持を得る中、酪農者からの問い合わせを受け、道内特有課題に対するソリューションを提案した。

けて畜産用システムを開発した。導入実績はまだないが、齊藤一成営業推進部長は「暑さでダメージを受けるのは、人間だけでなく家畜も同じ」と説明した。

このほか、積水化学北海道がサイフォン式雨水排水システム、日立グローバルライフソリューションズが空調機遠隔監視システム、ピーエスが空間向け除湿型放射冷暖房、ノーリツが屋内設置50号潜熱回収型給湯器を紹介した。

電気に関しては、東テック北海道、遠藤照明、ヤンマーエネルギースystem、東芝ライテック、T-OAの各担当者が発表。エネルギーや照明、放送設備といった、各社が強みとする分野の製品やサービスを提案した。